

電子情報通信学会 第77回「功績賞」・第53回「業績賞」受賞

2016年6月2日に一般社団法人電子情報通信学会より、ドコモ・テクノロジー株式会社の村瀬 淳氏は功績賞を、また無線アクセス開発部の前原 昭宏氏、安部田 貞行氏、移動機開発部の徳弘 徳人氏は、「LTE-Advancedを実現する高度化C-RANの実用化」の功績により業績賞（口）項（実用化）を受賞しました。

功績賞とは、電子工学および情報通信に関する学術または関連事業に対し特別の功労があり、その功績が顕著であるものに対して、業績賞（口）は電子工学および情報通信に関する新しい機器、または方式の開発、改良、国際標準化でその効果が顕著であり、近年その業績が明確になったものに対して贈られるものです。

功績賞を受賞された村瀬氏は、永年にわたり情報通信分野の研究開発に取り組み、移動通信システムおよ

びその端末技術に関する数々の先駆的な成果の創出や普及推進を通じて移動通信サービスに革新をもたらし、モバイルマルチメディア通信の基盤を築き、豊かなICT社会の創造に邁進しました。特に第3世代移動通信と呼ばれるIMT-2000システムに向けた端末開発において、多様なマルチメディアに対応可能な動画像伝送機能をもちながら、携帯性に優れた端末機能を実現するなど、多岐にわたる功績を挙げ、国内外の情報通信の発展に多大に貢献したことが評価されました。

業績賞（口）項（実用化）受賞の対象となった「LTE-Advancedを実現する高度化C-RANの実用化」は、移動通信の高速・大容量化を実現するLTE-Advancedを効果的に導入・展開することを目的に、LTE-Advancedの標準技術に追加する形でC-RAN（Centralized Radio Access Network）の特長を活かした新たな無線アクセスネットワークアーキテクチャを考案したものです。これにより、スモールセルとマクロセルに割り当てられた複数の周波数のキャリアアグリゲーションを実現する独自の「高度化C-RAN」装置として結実させ、国内最速の高速伝送を実現する商用サービスを可能としました。またこの実用化は、次世代移動通信方式（5G）に向けた今後の移動通信方式発展のベースになる非常に有効なアーキテクチャを示したものであり、これを世界に先駆けて実現したことで移動通信業界への貢献による功績が非常に顕著であることが評価されたものです。

村瀬 淳 殿

平成二十八年六月二日

一般社団法人電子情報通信学会
会長 柴正則

あなたは永年にわたり情報通信分野の研究開発に取り組み、移動通信システムおよびその端末技術に関する数々の先駆的な成果の創出や普及推進を通じて移動通信サービスに革新をもたらし、モバイルマルチメディア通信の基盤を築き豊かなICT社会の創造に邁進してこられました。特に第3世代移動通信と呼ばれるIMT-2000システムに向けた端末開発において、多様なマルチメディアに対応可能な動画像伝送機能をもつ携帯性に優れた端末機能を実現するなど、多岐にわたる功績を挙げ、国内外の情報通信の発展に多大に貢献されました。更に本会評議員理事として学会の発展に尽力されることにも、総務省国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）ワーキンググループ 構成員など、数多くの要職を務められるなど電子情報通信工学の分野における功績は誠に顕著なものとあります。よってここに本会選奨規程により功績賞を贈呈し表彰いたします。

前原 昭宏 殿
安部田 貞行 殿
徳弘 徳人 殿

平成二十八年六月二日

一般社団法人電子情報通信学会
会長 柴正則

高度化C-RANの実用化

あなたがたは、LTE-Advancedを実現する高度化C-RANの実用化に尽力され、多大な成果を挙げられました。この開発は、移動通信の高速大容量化を実現するLTE-Advancedの効果的に導入・展開することを目的に、LTE-Advancedの標準技術に追加する形でC-RAN（Centralized Radio Access Network）の特長を活かした新たな無線アクセスネットワークアーキテクチャを考案し、スモールセルとマクロセルに割り当てられた複数の周波数のキャリアアグリゲーションを実現する独自の「高度化C-RAN」装置として結実させ、国内最速の高速伝送を実現する商用サービスを可能とした画期的なものであります。この実用化は、次世代移動通信方式（5G）に向けた今後の移動通信方式発展のベースになる非常に有効なアーキテクチャを示したものであり、これを世界に先駆けて実用化したことによる移動通信業界への貢献は非常に高く、その業績は誠に顕著なものとあります。よってここに本会選奨規程により業績賞及び賞金を贈呈し表彰いたします。

